

令和七年一月号

《第一四五号》

しるへび

宗教法人岩國白蛇神社

〒740-0017  
今津町六丁目4-2  
☎ 30-3333

### 睦月の祭典・行事案内

【月次祭】 九時半  
十二日(日)

【歳旦祭】 六時  
二十四日(金)

【元始祭】 九時半  
一日(水)

三日(金)



### 明けましておめでたうございます。

平成二十四年の創建から二度目の「巳年」を迎えることができました。御祭神の御神徳はもとより、約四百余の崇敬会員、そして、地域の方々の御支援と御協力によるものと深く感謝をいたしてをります。本年が今まで以上に良き年でありますやうご祈念申しあげる次第です。

### 【昭和天皇御製】(第一二四代)

庭のおもにももる雪みてさむから  
む人をいともおもふ今朝かな

(昭和二十四年)

### 令和七年(紀元二六八五年)をおもふ

本年は、昭和百年を迎える年であり、そして、大東亜戦争敗戦から八十年といふ節目の年にもあたります。

先の大戦を経験した日本人は僅かとなり、また、戦争体験を祖父母や両親から聞いたいはゆる団塊の世代も後期高齢者となりました。

戦前は日本の存亡を賭けた激動の時代で、戦後は奇跡的な復興の御代でした。

大戦では三〇〇万人以上の戦没者を出しました。この史上最大の犠牲を今に活かさなくてはなりません。

### 【推薦図書】

#### 『国防の禁句』

サンケイセレクト

防衛「チーム安倍」が封印を解く

岩田清文・島田和久・武居智久 著

千二百十円

『・・・顧みれば、中国機による最初の領空侵犯が起きた二〇一二年一月は、日本の政治が混乱を深めていた時期であった。この時は空自が一時、相手機を見失つてしまった。その直後、政権に就いた安倍晋三総理は、自衛隊の対応態勢を抜本的に見直し、宥和的とも映った対中外交を軌道修正すると同時に、習近平主席に対し、「領土、領海、領空は断固として守り抜く。安倍政権の覚悟を見誤るな」と直接せまったのだった。しかし今、日本の政治は再び混乱を極めていく。・・・(略)

国防に対する国民の強い意志があつて初めて平和が成り立つものであることを、深く考えてこなかったつけが、今、私たち日本人に突つけられている。世界の力関係がドラスティックに変貌し続ける中で、今を生きる私たちは、尊い平和を守り抜き、誇りある日本を創り上げ、そして、次の世代へと引き渡していく責任があるだろう。』

(はじめに)より



### 『私はなぜ靖国神社で頭を垂れるのか』

ジェイソン・モーガン 著

千七百円十税 方丈社

私は、靖国神社に参拝して静かに頭を垂れている時、いつもそこに祀られている英霊たちの声が聞こえてくるような気がします。

「私たちの命は失われたとしても、魂はこうして永遠に存在します。けれど、今のあなたたちはどうですか？ 本当の敵と戦うことを恐れ、失敗におののき、命令されるがまま、自分の意思を持たないままにただ生きながらえた命は、空虚なままです。私たちが、ワシントンやソ連という二〇世

紀最大の悪魔と戦ったのは、憎悪のためではありません。私たちは、家族のため、日本のため、アジアのため、そして人間という存在を守るために戦ったのです。あなた方は、今、どう生きていますか？」  
 こんなふう呼びかけられている気がするのです。……《まえがきから》

### 大絵馬が奉納されました

本年巳年の記念に大絵馬が奉納されました。拝殿の回廊東側に掲示しているのが、広島女学院大学教授で美術家の三樹正典先生によるものです。拝殿天井画に続いての奉納となり、誠に有り難く、神社の宝となるものです。是非とも神々しい白蛇をご鑑



【三樹 正典先生奉納】

余り力に迫られる大きな絵馬です。

### 麻里布中学校美術部員による奉納



麻里布美術部の活躍は、以前からよく耳にしました。また、麻里布中の小学生は、蛇のとき子供飼育と務めた生徒もおり、白蛇は身近に存在

です。巳年を迎えるにあたり、大絵馬への挑戦の話しを向けたところ、是非とも描いてみたいとのことでした。そのやる気は何日も経たないうちに、たくさんの原画が顧問の先生によって届けられたことでわかりました。麻中美術部生徒の見事な大絵馬を、初詣の機会に是非とも御覧頂きたいと切望します。

### 【大幟旗の奉納】



新たに大幟旗が正面標柱脇に奉納されました。令和六年度の崇敬会からの寄進によるもので、巳年を迎えるに相応しい奉納であり、深く感謝を申しあげ次第です。

「元旦〜五日まで」

駐車場は麻里布小学校運動場のみとなります。

約七百メートルの距離ですがご協力とご理解をお願い致します。尚、案内係が神社周辺に待機してゐますので、場所が不明な時はお尋ねください。

